

令和2年 伊勢市観光客実態調査 第3期速報【概要】

〈今回公表する調査結果〉

伊勢市観光客実態調査 令和2年3期速報

〈目的〉

伊勢市を訪れる観光客の旅行目的、来訪手段、滞在種別（日帰り・宿泊）、立寄り箇所数、消費額、満足度など行動実態に関する調査を実施し、その特性、傾向等を分析することにより本市の観光の実態を明らかにし、本市の観光施策の効果的な推進を図る。

〈調査日〉

令和2年8月1日(土)、8月2日(日)

〈調査方法〉

本市内の調査地点を訪れた観光客を対象に、調査員による「対面聞き取り調査」を行いました。

〈調査地点〉

- ・外宮周辺（外宮前広場）
- ・内宮周辺（おかげ横丁）
- ・二見（二見浦公園駐車場）
- ・河崎（河崎商人館周辺）

〈調査対象〉

- ・調査地点を訪れた観光客を対象とします。（市民を除外しません。）
- ・外国人観光客は対象としません。

〈回収数〉

480 サンプル（うち市民4サンプル）

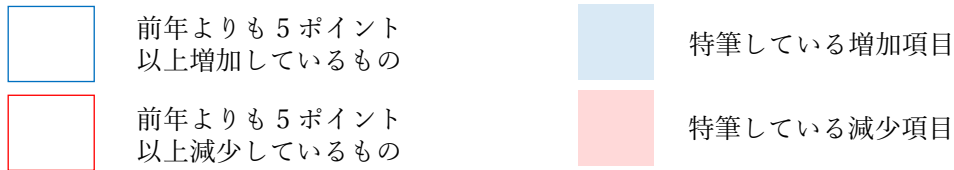
【参考】(H31/R1)	1期(3月)	: 363 サンプル（うち市民23サンプル）
	2期(7月・8月)	: 613 サンプル（うち市民34サンプル）
	3期(11月)	: 378 サンプル（うち市民23サンプル）
	4期(12月)	: 391 サンプル（うち市民11サンプル）

〈留意事項〉

- ・本資料の作成は、令和2年伊勢市観光客実態調査3期速報値を用いて行っています。
- ・端数調整により割合の合計が100%とならない場合があります。

令和2年 伊勢市観光客実態調査（3期）速報結果

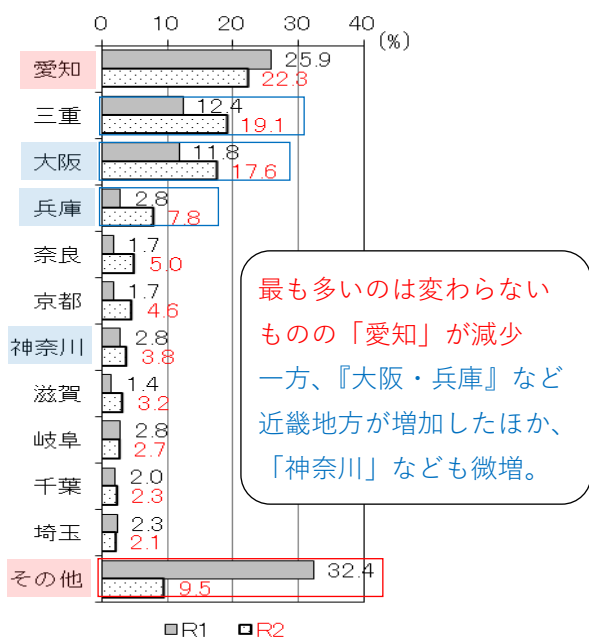
※調査自体は市民を含んで実施していますが、下記のグラフからは市民を除いています。



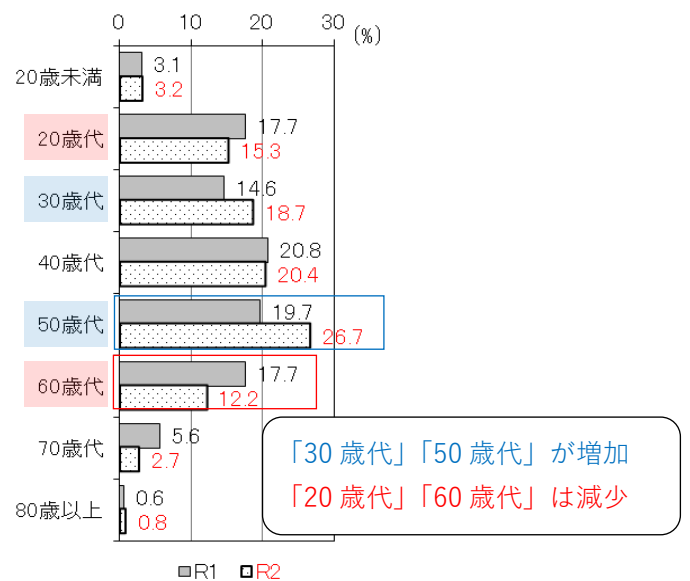
1. 観光客の属性

～近畿地方からがほぼ倍増／『若年層』はほぼ横ばいまたは増加に対し、『60歳代以上』の減少が目立つ／夫婦・一人旅など少数の旅が増加し、友人・団体など大人数での旅が減少～

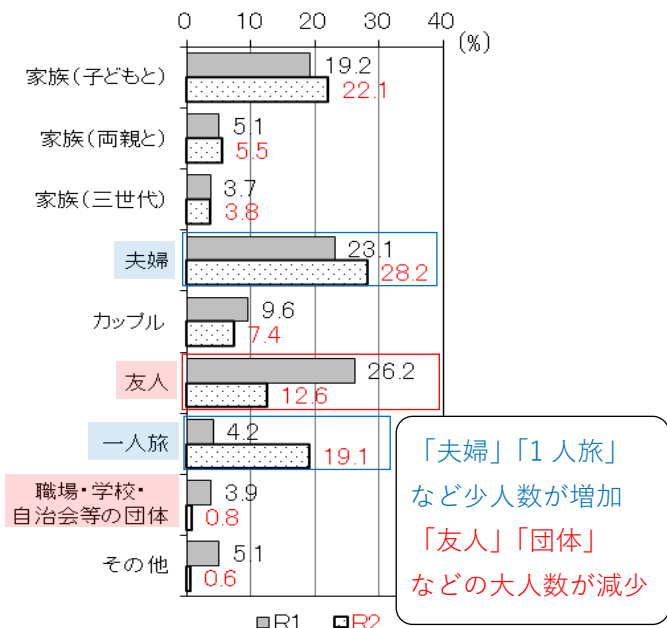
(1) 居住地（都道府県別）



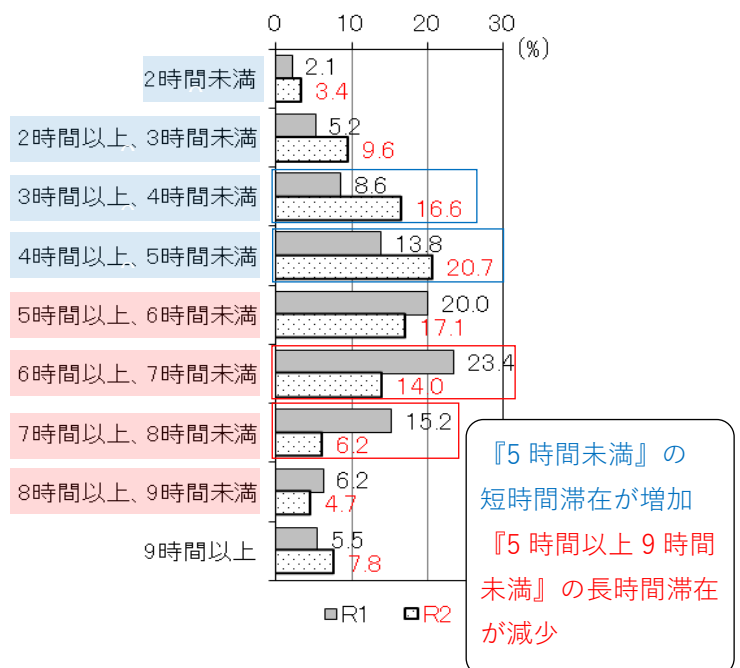
(2) 年齢



(3) 同行者の種類



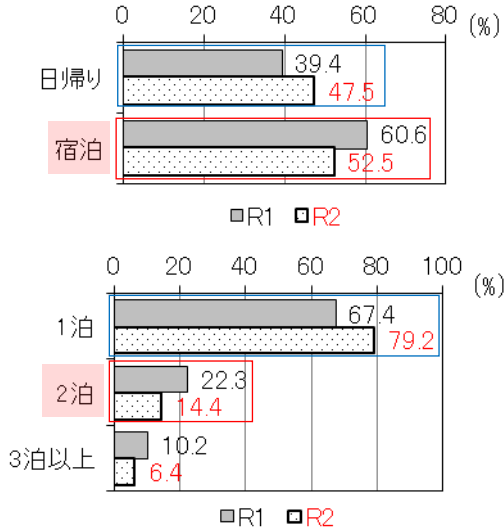
(4) 日帰り客の伊勢市の滞在時間



2. 旅行行程

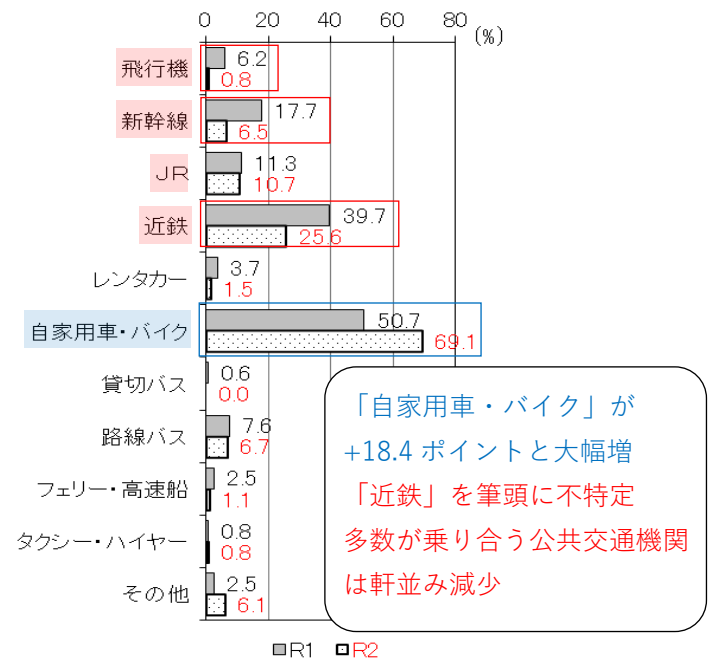
～「宿泊」及び「宿泊数」とともに減少し、滞在時間の減少が顕著／不特定多数が利用する公共交通機関の利用が軒並み減少し、「自家用車・バイク」が大幅増～

(1) 宿泊の有無・宿泊数



1期・2期同様、「宿泊」が減少した上、泊数も『2泊以上』が大幅減するなど滞在時間の減少が顕著

(2) 伊勢市へ来る(から帰る)際利用した交通機関

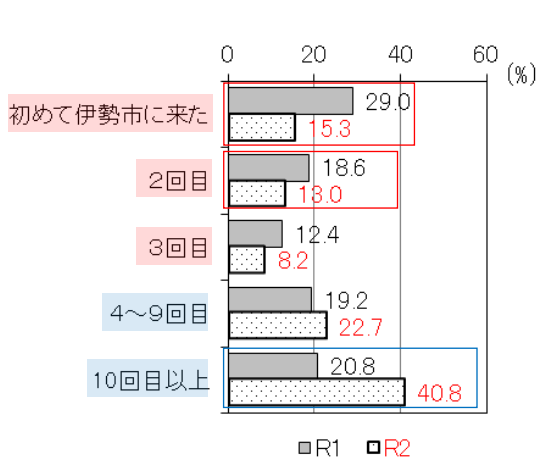


「自家用車・バイク」が+18.4ポイントと大幅増
「近鉄」を筆頭に不特定多数が乗り合う公共交通機関は軒並み減少

3. 伊勢市を選んだ理由

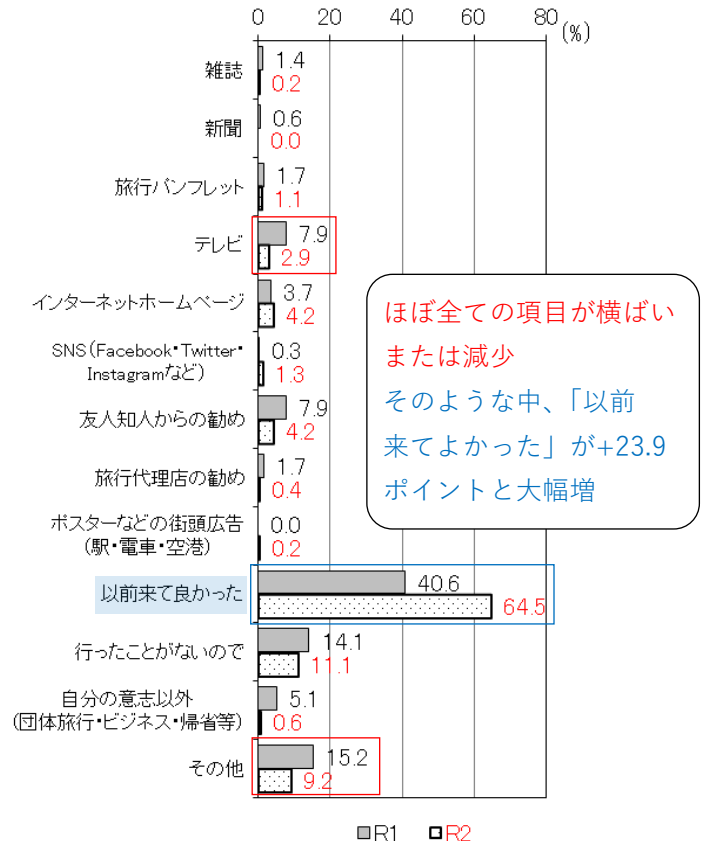
～今年初めて「4～9回目」の訪問が増加／「以前来て良かった」が大幅増～

(1) 訪問回数



『3回以下』は全て減少。
「4～9回目」が今年初めて増加。
また、「10回以上」が+20.0ポイントと大幅に増加し、これまで以上にコアなリピーターが多く訪れた傾向が表れた

(2) 伊勢市を選んだきっかけ

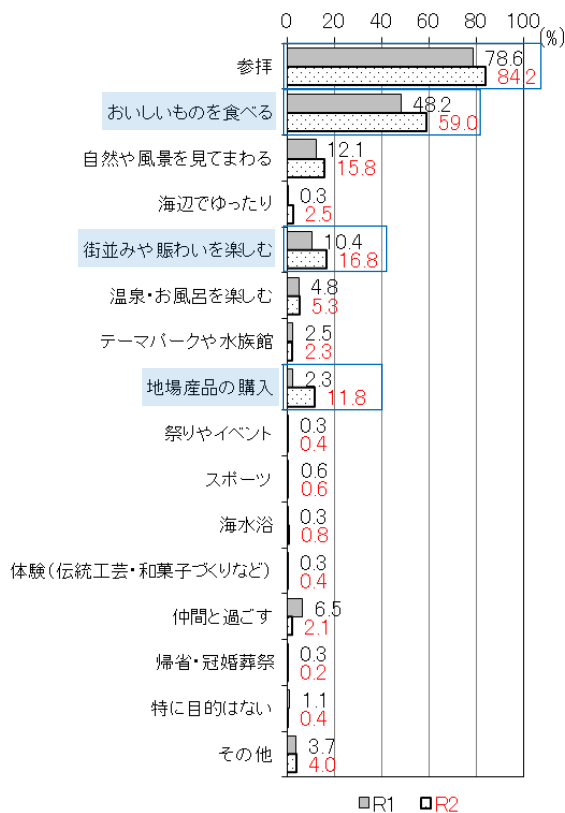


ほぼ全ての項目が横ばいまたは減少
そのような中、「以前来て良かった」が+23.9ポイントと大幅増

4. 観光目的地

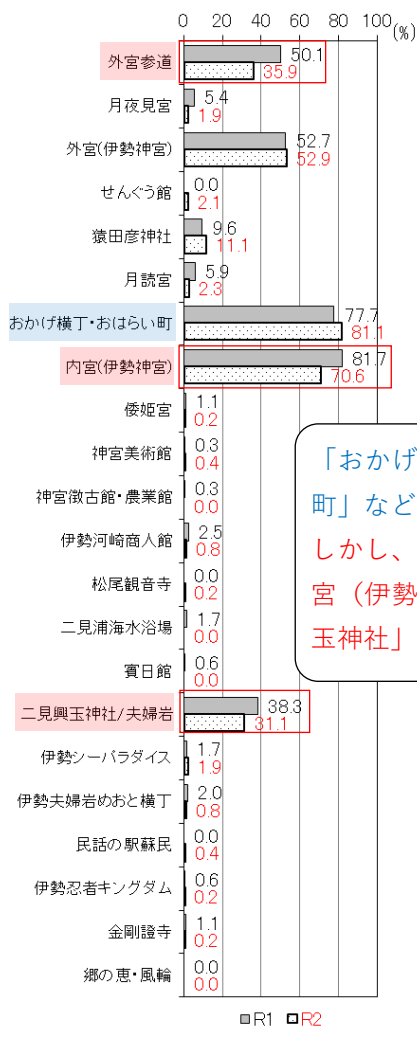
～旅行目的の多様化が目立つ／一方、立ち寄った観光地は減少が目立つ～

(1) 旅行目的



最も高いのは「参拝」で変わらないが、次点の「おいしいものを食べる」や「街並みや賑わいを楽しむ」「地場産品の購入」など全体的に目的が増えた。

(2) 立ち寄った(予定の)観光地

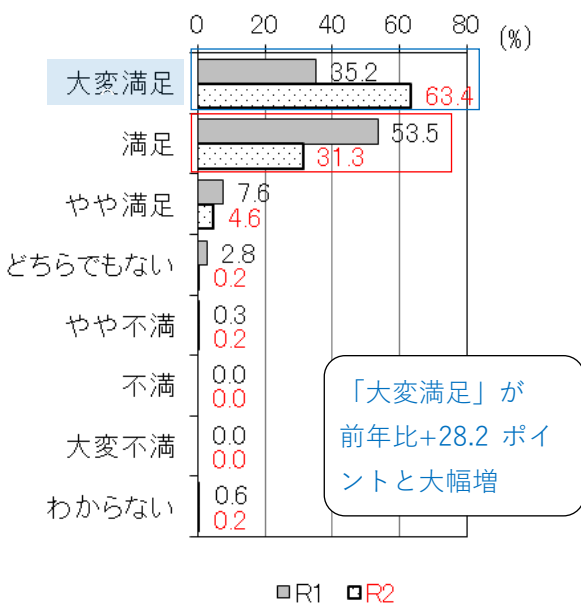


「おかげ横丁・おはらい町」などが増。
しかし、「外宮参道」「内宮(伊勢神宮)」「二見興玉神社」などは減少。

5. 本市観光の満足度

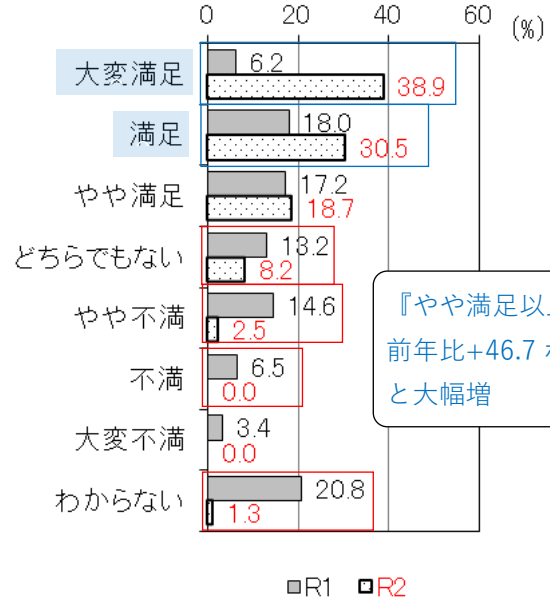
～全項目で満足度が改善し、不満解消が目立つ～

(1) 景観・雰囲気の満足度



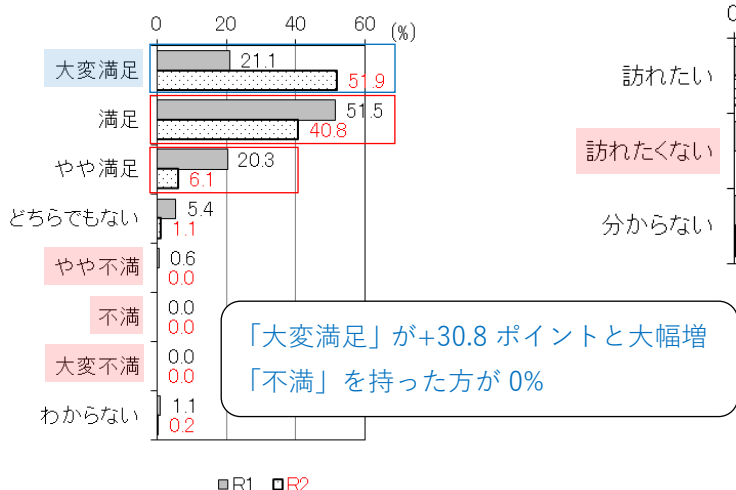
「大変満足」が前年比+28.2ポイントと大幅増

(2) 移動・交通の満足度



『やや満足以上』が、前年比+46.7ポイントと大幅増

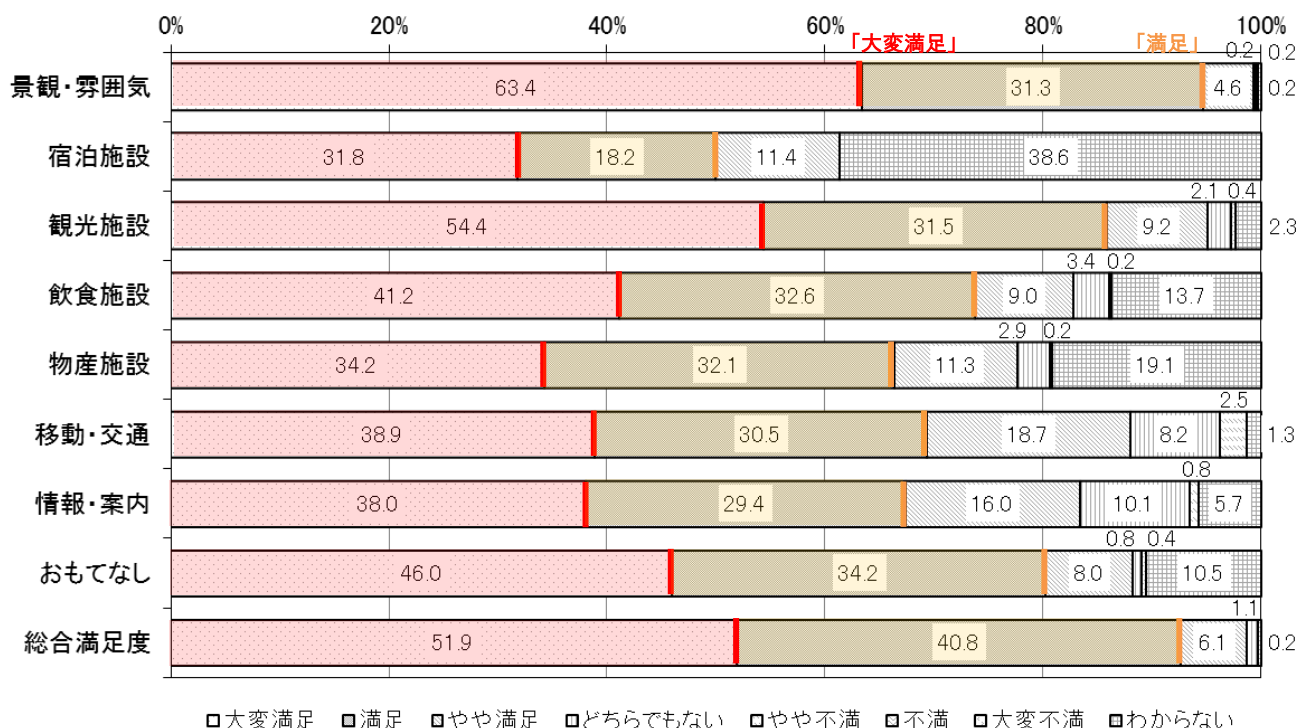
(3) 総合満足度



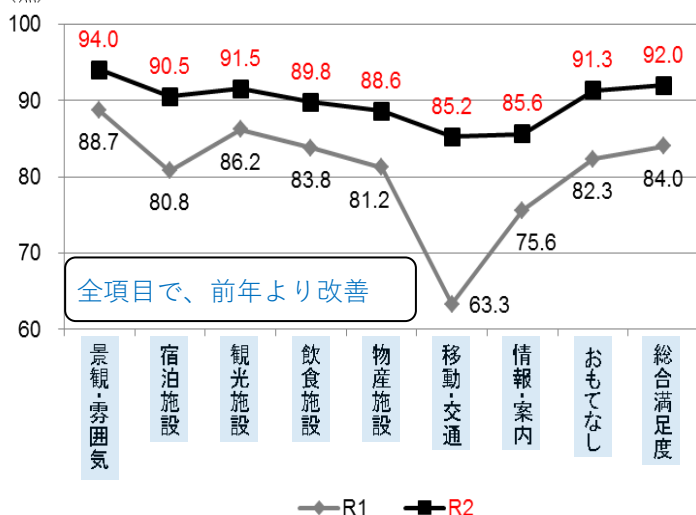
(4) 伊勢市の再訪意向



(5) 各項目の満足度の比較 (構成比)



(6) 各項目の満足度の比較 (点数)



掲載項目以外では、伊勢市内の宿泊日数が減少。
 宿泊施設は今年初めて旅館が増加。
 市内平均消費額も日帰りの「その他」、宿泊の「入場料」「土産代」「その他」を除いた項目で減少し、市内消費総額として▲4,870円と減少した。
 満足度に関する記述で、例年同様に「雰囲気が良い」「景観・景色がよい」「食べ物がおいしい」という意見が多数見られ、満足度も全体的に改善された一方、「駐車場の情報・案内が少ない/分かりにくい」「案内板・案内・パンフレット等がどこにあるのかわかりにくい」「神宮・おかげ横丁以外の観光スポットをもう少しアピールしてほしい」といった、不満意見も多く寄せられた。

《新型コロナウイルス感染症による影響の推測》

- 近郊からの来訪者が増加し、遠方からの来訪が減少。
- 少人数での来訪も増加し、大人数での来訪が減少。
- 日帰りが増加して宿泊が減少。(宿泊日数も1泊が増加し、2泊以上が減少。)
- 日帰り客の滞在時間も、全体的に短時間化。
- 平均観光地点数は、3.36箇所から2.94箇所に減。(掲載項目外)
- 伊勢市以外に訪れた箇所も「なし」が過半数。(掲載項目外)
- 自家用車・バイクが増加し、不特定多数が利用する公共交通機関利用が減少。
- 10回以上訪問の方が増加し、選んだ理由としても「以前来て良かった」が過半数。
- 大半の項目で消費額が減少。
- 満足度の項目では全体的に改善。

ほとんどの項目で1期・2期の調査と同様の傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により遠方への旅行をしづらい雰囲気があるなか、「近郊在住のコアなりピーターが、自家用車・バイクで小旅行」という訪問が多かったと推測される。

宿泊利用及び宿泊日数が減少し、日帰り客の滞在時間も短縮している。その結果、消費額も減少したものと推測される。

なお、自由記述意見の中には、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光客が減って快適に観光が出来る」といった方面での意見もあった。